

高西地区 から こんにちは
今月の 気になる人

興津支所管内より

ミョウガの収穫が始まります
橋本 健太郎さん (38)

興津支所に肥料の購入に来られた橋本さん。40アールでミョウガを栽培する専業農家で、旧JA四万十では非常勤理事を務めたこともあります。今は春先から始まる収穫作業に向けて準備を進めているとのこと。趣味のバイクでツーリングに出かけることが楽しみだそうです。



橋原支所管内より

コーヒーでも飲みにきいや〜
明神 千壽恵さん (82)

“お年寄りの憩いの場”にこにこ喫茶”でウエイトレスをしている8名の代表を務める明神さん。毎週金曜日に地域活力センターで行われる「100歳体操」にも参加するなど、まだまだ元気いっぱい。“にこにこ喫茶”の開店時間は、毎週火・金、13時〜15時半です。ぜひ、お越しください！



大野見支所管内より

腕前に自信あり
吉岡 照海さん (67)

OBということもあり、いつも農協に立ち寄っていただいている吉岡さんは、水稲100アール、生姜23アールを耕作しています。趣味は旅行で、いろいろな美味しいものやお店に詳しく、また船釣りも楽しんでます。この日の釣果はご覧のとりの大物でした！
これからの目標は、半農半漁でストレスをためないよう健康に気を付けていくことだそうです。



四万十支所管内より

一丸となってニラ栽培
左から 市川 聖人さん (23)
岡田 将裕さん (39)
野崎 義徳さん (49)

平成25年に設立された四万十町の「農事組合法人ひらの」では、ニラの栽培と水稲の作業受託を行っています。1月末の撮影時には毎日約200〜250kgを出荷しており、地域雇用にも積極的に取り組んでいます。
ニラ部会の副部会長を務める野崎さんをはじめ、趣味も年齢もばらばらな3名をパチリ！力を合わせて規模拡大を目指しています。



東津野支所管内より

うめこと一緒に
大地 真人さん (40)
瞳さん (40)
うめこ

四国カルストが間近にある日曾の川地区で、父から受け継いだ畜産を家族で経営している大地さん。仲よし夫婦で、奥さんは高校からの同級生だそうです。現在は約20頭を飼育しており、取材時にはその中の1頭、「うめこ」と一緒に撮影させていただきました。
カメラ目線もバッチリなうめこちゃん。もりもり食べてどんどん大きくなってね♪



できごとピックアップ

地区内のイベントや、地域農家の取り組みなどを紹介します！



昨年仕込みの味噌をパックに詰めていきます

1 四万十地域

おいしいみそができるかな

1月17日、四万十支所の女性部加工施設「ときめき家」で、四万十町立川口小学校の5年生6名が味噌作り体験学習を行いました。同校では毎年学校の田んぼで米作りをしており、全校生徒が田植えや稲刈りを学んでいます。

生徒は女性部員に教わりながら、収穫した米から作った麴と同産の大豆で来年へ向けた仕込みを行いました。ミンチ状にした大豆を丸め、空気を抜くため力いっぱい桶に投げ入れ、いく作業では香ばしい香りが漂い、「いい匂いがする」「楽しい」と歓声が上がっていました。

また、昨年仕込まれた味噌のパック詰めでは、熟成し、ねつとりと重くなった味噌がはみ出さないよう注意深く作業を行っていました。味噌は手作りの「かがやきみそ」として同校生徒に配布されるとのことです。同校の高石校長は「米作りから味噌への加工まで、子供たちにはとてもいい経験になっています。来年も取り組みを続けていきたいです」と話していました。



出荷方法を確認する生産者

2 津野山地域

干しシイタケを低温乾燥でもっとおいしく

1月17日、榑原町役場で干しシイタケの低温乾燥技術講習会を開催しました。日本きのこセンターの西本博所長を講師に迎え、生産者23人が低温乾燥や生産上の注意点などを学びました。

低温乾燥とは、25℃で20時間乾燥させた後、55℃で10時間乾燥させることです。従来の乾燥技術に比べ排気調整も不要で、使用する燃料も最大7割程度削減することができます。そのほかに、風味や旨味、薬効成分が増し、渋みなどの雑味を取り除かれます。通常の干しシイタケは、水で6〜12時間かけて戻していましたが、低温乾燥では15分程度にまで短縮できます。調理時間の短縮による消費拡大が期待されます。

西本所長は「中国産の菌床シイタケが学校給食に流入してきている。低温乾燥された原木干しシイタケを使ってもらえるよう、安心安全対策に十分気を付けてほしい」と話していました。

3 四万十地域

『農業振興意見交換会』を開催



様々な意見が交わされました

1月29日、生産部会や利用組織の代表者で構成する生産組織代表者は、『農業振興意見交換会』を四万十支所で開催しました。

毎年この時期に開催しており、今年も町長や県議会議員、県農業振興部からも部長や課長など70名が出席。各組織の課題や県、町行政の施策について互いに報告し活発な意見交換が行われました。今後管内で各機関が協力し合い、地域の農業発展に努めていくための有意義な会となりました。

4 津野山地域

「とさのさと」説明会を開催



説明をきく参加者

1月15日、津野山営農経済センターで、4月リニューアルオープン予定の「とさのさと」の説明会が開催されました。

出品希望者約30人が集荷物流便のルートや出品方法など具体的な内容について説明を受けました。今後出品希望者の意見をまとめ、詳細を決定していきます。「とさのさと」は中山間地域の所得向上を目的としています。たくさんの方の出品をお待ちしております。

5 四万十地域

おすすめ手料理召し上がれ



松葉川支所の山崎良子さん◎と井上千代美さん

直販所みどり市では、月に2度、女性部による「ミニミニ料理教室」を開催。農協で販売中の情報誌「家の光」掲載のレシピや農家オリジナルのレシピを紹介しています。

1月は松葉川支所が地元の食材を使った「ジャガイモの煮っ転がし」「サバの水煮とこんにゃくの味噌和え」を準備。来店者に「食べてみんかよ」と試食を勧めるうちに、料理のコツや家庭菜園のポイントまで次々と話の花が咲いていました。

6 津野山地域

津野山地域で5人が入賞



品評会表彰者

1月24日、平成30年度高知県酒米品評会と表彰式が開催され、フクヒカリの部門で津野山地域から5人の方が入賞しました。

平均標高660mから760mで栽培されている今年のフクヒカリは、評点平均85点と県内トップクラスの出来でした。受賞者は次のとおりです。

▼優秀賞・西元常久さん(榑原町)、中越幸年さん(榑原町) ▼特別賞・中越勇次郎さん(榑原町) ▼奨励賞・中越武俊さん(津野山町)、安井智さん(榑原町)

四万十地域より

水稲用除草剤 『初期剤・初中期一発剤』 の上手な使い方

水稲栽培における雑草防除は、近年では一発処理剤やジャンボ剤によるものが主流になってきています。薬剤の成分により有効な草種が異なるので、発生する草種に合った薬剤を使用することも大事になってきます。

初期剤や初中期一発剤といった湛水土壤処理剤をしっかりと効かせるためには、薬剤処理後、**少なくとも3～4日間、水深を3～5cmに保ち、土壌表面に薬剤の処理層を形成させる**ことが重要です。

そのためには田面を均平にし、漏水を極力防ぐ圃場作りを心がけましょう。また、周辺環境の保全のためにも、**農薬が土壌に落ち着くまでの7日間は、落水及びかけ流しは行わない**ように徹底しましょう。

商品紹介

商品名	成分数	使用量	使用時期	使用回数	特性
エリジャン乳剤	1	300ml/10a	植代後～移植前7日前まで 移植直後～ノビエ1葉期 ただし、移植後30日まで	1回	原液散布 水中拡散性に優れているので、 安定した効果が得られる
デルカット乳剤	2	500ml/10a	植代時（移植4日前まで）		代かき作業時に原液で 土壌混和処理を行なえる
クサトツタ粒剤	4	3kg/10a	移植直後からノビエ2葉期 ただし、移植後30日まで	1回	初期一発除草剤
ホクト粒剤	4	3kg/10a	移植後5日からノビエ3葉期 ただし、移植後30日まで		クリンチャーの成分を含む
ホームランLジャンボ	3	500g/10a	移植後3日からノビエ2葉期 ただし、移植後30日まで		ノビエに対する残効性の長い 有効成分を含む 一発処理除草剤
ウイナーLジャンボ	3	500g/10a	移植直後からノビエ2.5葉期 ただし、移植後30日まで		抵抗性雑草（アゼナ類、 コナギ等）にも有効
エーワンジャンボ	2	300g/10a	移植後5日からノビエ2.5葉期まで ただし、移植後30日まで		雑草を白化させて枯死させる。 抵抗性雑草、イボクサ等 などの特殊雑草に高い効果
イノーバDX粒剤	4	1kg/10a	移植直後からノビエ2葉期まで ただし、移植後30日まで		田植同時散布が可能

※薬剤使用前に農薬のラベルを熟読し、
使用量、使用時期・回数等を十分注意して使用基準を守りましょう。

～紹介した商品以外の除草剤については、各支所・グリーンにお問い合わせ下さい～

えいのう～



津野山地域より

津野山宮農経済センター・須崎農業振興センター農業改良普及課

知っておきたい ユズの病害虫

① ステムピッキング病

樹全体が萎縮し、果実も小玉化するカンキツトリステザウイルス（CTV）が原因のウィルス病です。接ぎ木やミカンクロアブラムシによって伝染します。枝や主幹部の樹皮を剥くと筋状のくぼみ（ステムピッキング）があることで判断できます。ユズ果実に発生するかいよう性こはん症が多く発生する樹では、ステムピッキング病も多い傾向があります。

対策

- ・ミカンクロアブラムシの防除
- ・被害樹は伐採・抜根して圃地外へ持ち出して処分する（土壌病害ではありません）
- ・温州ミカン等ユズ以外のカンキツ類はCTVを持っていることからユズ園に混植しない

ステムピッキング ミカンクロアブラムシ かいよう性こはん症



② ミカンサビダニ

平成28年夏秋期ごろに津野町で初めて確認され、その後、梶原町でも発生し、現在では津野山地域の全域に拡大しているものと推測されます。

体長約0.2mmと極めて小さいため、肉眼で確認することは難しいです。被害果や葉の特徴を覚えておくことで早く見つけられます。

対策

- ・薬剤での防除（イオウフロアブル400倍）の徹底散布
- ・除草、整枝、せん定等、ミカンサビダニが発生しにくい環境づくり

※わからないことがあればJAまでご相談ください



ユズの栽培管理のポイント
ユズの出荷量を大きく左右する
主要な病害虫対策について
ご紹介します。

果実の被害 新葉の被害 成虫



皆さんからのご意見、ご感想、つぶやき、川柳、イラストなど、お便りを心待ちにしています!

みんなのひろば

俳句

霧の里句会

玄関に入らず梅園訪ねけり
段畑の目じるし白き梅の花

武政礼子

年明けの背山晴れたる鶯の笛
訪ふ門の犬吠えられて早二日

市川和美

三日はや黄泉路よみちに発ちし村の長
はらからの気使ひ籠る年の餅

今橋孝子

幸は来る年々の年賀状
初日の出あろか拝む車延々と

玉川治美

一年の息災願ふ初日の出
そこだけは華やかなりし藪柑子

田中信子

降る雪や京の大路に人の渦
酒飲めぬ家族揃ひて屠蘇交わす

竹内春猪

短歌

窪川短歌教室

彼岸花の葉の色著ししる 聞こえるや近き瀬の音老いしぼん太に

岡村 香代子

右に米左にきやべつスーパリーの帰路をがんばる上腕二頭筋

黒岩 やよえ

夜具干せばシオカトラトンボ来て止まる小春日和のラ、ラ、ラ休日

市川 浩子

何もかもうまくいかないこんな日はシユガースポットバナナを剥むこう

文野 美恵子

ささがけの赤き椿にわが胸のポツリ明るむ霜月尽日

島岡 紀美

大中恩九十四でみまかりぬ「犬のおまわりさん」ラジヲに流る

市川 隆子

卒寿なる義兄を祝う宴席で米寿のひとの舞にみほれる

北村 さちこ

大型を小型に替へて町内の病院通ひす卒寿の夫

岩井 房子

海染めて小島を抱き初日の出
道二つ貫ぬく田の面初景色

西宮正衛

木枯しや写経の筆のふと止まり
夜長し明けを待ちつつ句を詠みぬ

西森美好

神棚に白く座を占む鏡餅
初詣海光映ゆる大師像

長谷部延子

食卓の蠟梅開く枝の先
暖冬や葉陰やさしき土佐有楽

前田喜久

新年や菜園さいえんの真青美しき
年明くる幼の五指まゝおに初ひかり

松本明子

初詣家族の拍手揃ひけり
引く波に寄せる波に初明かり

渡辺小梅

INFORMATION

お知らせ



当選者のお知らせ

旧 JA 四万十広報誌「あぐりしまんと」12月号のパズル抽選
当選者発表です。

12月号の答えは「コママワシ」でした。

当選者	四万十町市生原	PN いちもじ
	中土佐町大野見萩中	尾崎 幸
	四万十町仁井田	中平 岩男
	四万十町秋丸	PN KEIKO
	四万十町見付	中平 董雄
	(敬称略)	

当選者の方に洗剤セットをプレゼント!
おめでとうございます!

【各支所連絡先】

四万十支所 (旧JA四万十本所)

0880-22-0003

梶原支所 (旧JA津野山本所)

0889-65-0111

興津支所

0880-25-0002

東津野支所

0889-62-2211

大野見支所

0889-57-2321

葬祭会館 ルミエール四万十

0880-22-5900

(株)JAメモリアルこうち 津野山出張所

0889-40-1955

事故受付など 高西サービスセンター

0889-40-4141